

市のICT教育への取組

1人1台のタブレット端末配備

児童・生徒用は100%、教職員用は小・中学校で7~8割を配備済み。



学習環境の整備

- ▼大型提示装置の設置を促進
- ▼英語でデジタル教科書を活用
- ▼GIGAスクールソリューションによる学校支援や教職員との連携体制の構築



高速通信ネットワークの整備

通常教室や体育館は整備が完了。音楽室・理科室・図工室などの特別教室と教務室は年度内に整備予定です。



保護者の疑問 Q & A



Q 家庭学習でどう活用すればいいの？

A 例えば、算数や数学ではAIドリル、国語では音読の様子を動画で撮影するなどの使い方があります。保護者の方もこれまでの家庭学習と同じように、学びをサポートしてください。また、学校が休校になったときは、タブレットを利用した朝の会や面談・連絡に活用するほか、オンライン学習を実施する予定です。



Q 悪質サイトを見たり、悪用したりしないか心配…

A 一人ひとりに専用アカウントとパスワードを付与し、ネットワーク回線は悪質なサイトを閲覧できないように設定しています。学校でも、教職員用のネットワーク環境と区別して、データサーバーにはセキュリティ対策を施すなどしています。また、各学校で児童・生徒への情報モラル教育を定期的に行なうほか、児童・生徒同士でメールなどはできないように設定しています。



Q 故障したり、紛失したりした場合はどうするの？

A すぐに学校へ連絡してください。原則として教育委員会が対応しますが、故意による破損などの場合、必要な費用を負担していただくことがあります。



特集

教育×ICT しばたのGIGAスクール

問合せ先=学校教育課 (☎22-9532)

文部科学省が全国で推進する「GIGAスクール構想」。これは、これまでの教育にICT(情報通信技術)を加えることで、多様な個性を持つ子どもたち一人ひとりの力を最大限に引き出すことを目指しています。

当市でも、令和3年度から市内の小・中学校でこの取組がスタートし、タブレット端末(コンピュータ)と高速通信ネットワークを使った新しい学習方法に、児童・生徒が取り組んでいます。

今月の特集では、しばたのICT教育についてお伝えします。



グローバル アンド イノベーション ゲートウェイ フォーオール
※GIGAとは、「Global and Innovation Gateway for All」の略で、全ての児童・生徒のための、世界につながる革新的な扉、という意味です

ICT教育ってなあに？

ICT教育とは、タブレット端末で多様なアプリケーションソフトウェアを活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を促し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための重要な手段と考えられています。



▲児童・生徒が使用しているタブレット端末



▲GIGAスクールサポーターの支援も受けながら、授業の実践例を計画し、効果的な学習場面や、どのような学びを得ることができるかなどを考えます



がんばってます。先生たち!! ICT合同研修会

各小・中学校から1人ずつ参加して、ICT機器の活用方法の習得や活用事例の共有・相談などを行っています。



▲他校の先生が作成した授業計画や実践例に、先生たちは興味津々。グループ内で、お互いの意見や感想を伝え合い、活発な情報交換が行われました

ICT合同研修会に参加して

豊浦小学校 加藤奈緒子 先生

ICT機器を活用した授業の必要性は分かりつつも、実践する難しさをずっと感じていたので、他校の先生と情報共有できた今回の研修は、とても貴重な時間でした。児童たちには、従来の授業とICT機器での授業の良さを組み合わせて、よりよい学びを届けるとともに、その便利さと難しさ・怖さの両面も、きちんと伝えていきたいです。



加治川中学校 渡邊亨 先生

生徒も先生も初めてなので戸惑うことも多いですが、まずは私たちが積極的に使っていきたいと考え、参加しました。どんな生徒でも、ICT機器を活用して学ぶことができるといけないと教えていきたいですし、いかに理解し、楽しみながら学べるかが大切です。生徒たちには、これからも「分からることはチャンス」と捉えて学んでいってほしいです。

学校独自の研修会 実施回数No.1

豊浦小学校の取組



【教職員で学び合う場所作り】

教務室の隣には、ICT機器を使った授業の成果や課題を紹介して、先生たちが情報共有できる場所を設けています。

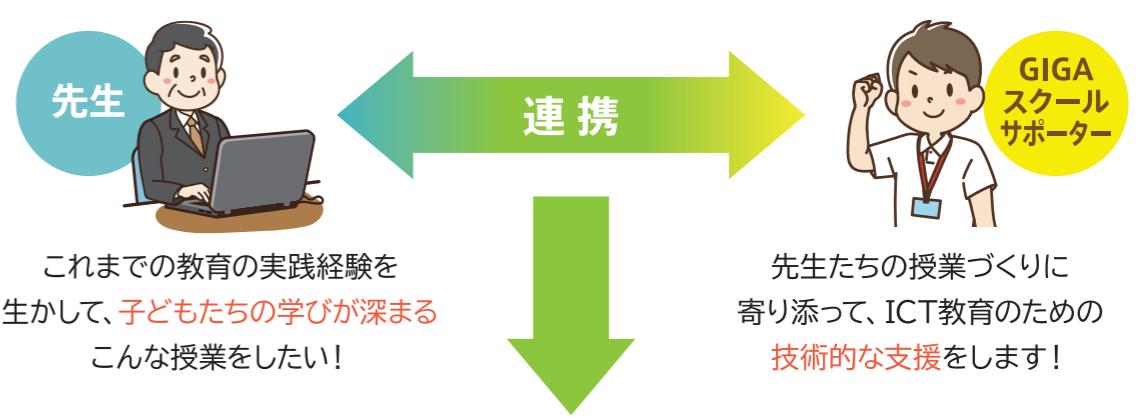
【実践事例の紹介&研修会】

3学期の授業に向けて、2学期の実践事例を紹介しました。また、GIGAスクールサポーターによる動画配信方法などの研修も行いました。



先生×ICT～目指せ!確かな学力の育成～

どんなに最先端の機器があっても、使いこなせなければ十分な効果を発揮することはできません。先生たちも「GIGAスクールサポーター」と連携し、技術的な支援やICT研修を受けるとともに、お互いに情報交換しながら、日々研鑽を積んでいます。



「個別最適な学び」と「協働的な学び」で
「確かな学力」を育むこと



先進的な授業を目指し
いち早く取り組んだ七葉中学校の先生を紹介します！

実践と反省を積み重ね、ICTでよりよい授業を

授業のICT化は、2年前、当校の空き教室に環境を整え、実験的にタブレット端末で授業を実践した頃からの目標でした。今では、ICT機器を使う授業を生徒も楽しみにしており、学びへのよい刺激となっています。将来的には筆記用具のように使われていくこれらの機器を、失敗を恐れずにどんどん活用して、生徒が楽しみながら「分かる」「面白い」と思える授業を目指していきます。そして、実践から得たものを発信し、他の先生がたと共有していきたいです。



七葉中学校
市橋佑太 先生





正しく「使う」ため 「使い方」も大切に 校内ルール作成＆情報モラル指導

優れた面が多いICT機器も、「使い方」には注意が必要です。「心配だから禁止する」ではなく、各学校での校内ルール作成や情報モラル指導を通じて、「使い方を児童・生徒が自ら考える」機会につなげていきます。

例 七葉中学校「タブレット使用上の約束」

- ▼休み時間は、先生の許可を得ることで使用できます
- ▼授業に関係あるサイト、動画、アプリのみ閲覧・使用します
- ▼授業で他の生徒の写真や動画を撮影した時は、授業の終わりに削除しましょう

授業で端末を使ってみて



豊浦小学校6年 中村咲妃さん

クラス全員の意見や回答を一緒に共有できるので、効率よく学習できて便利です。漢字も変換できて使いやすいですが、習った漢字を直接書くときに、忘れないように気をつけていきたいです。



七葉中学校2年 濵谷陸翔さん

体育では、自分たちの動きを撮影できて改善点がすぐに分かるのが楽しいですし、数学の図形の問題では、点を動かしながら考えることができるので、より理解しやすくなりました。



七葉中学校 後藤明日子 先生

特別支援学級では、生徒の得意不得意に応じた問題が出題されるドリルを活用しています。生徒のペースで学びやすくなったりことで、集中できる時間がこれまでの3倍以上に伸びるなど、学力と意欲の向上につながっています。



自分の頃と比べよう!

授業の変化

国語



複数の情報を関連付けて考えを深めるために、「思考ツール」を使って情報を整理したり考えを組み立てたりしています。

英語



スピーチ活動の様子を撮影し合い、内容の確認や、アドバイスを考えます。映像を見て振り返ることで、次の活動につなげます。

児童・生徒×ICT ~変わる教育~

ICT教育により、これからの授業はどんどん変化し、学びの可能性は更に広がります。最先端の機器が、どのように授業で使われているのか。その様子や、児童・生徒たちの声などを紹介します。

これまでの授業



これからの授業



社会

新発田市への提案書をつくるう
私の意見は…

授業だけじゃない! いろいろな使い方



他にも 宿題や資料の配信・提出、休校中のコミュニケーション手段としても活用します



保健体育

体操の動きを撮影して、手本と自分の技との違いを分析し、改善策を考えます。



こんな使い方も! 生徒会朝会

感染症対策として、生徒会朝会をリモート形式で行ったり、新生徒会役員任命式の様子を教室に配信したりしました。